

セルフプロデュースの9人組ボーイズグループ「UNiFY」、MV再生100万回突破の話題曲で東名阪ツアーファイナルを熱狂に！ 全席SOLD OUTで完走

新曲「ポジティブシンキング」を含む全20曲を披露！日本武道館への夢に向け、さらなる一歩

セルフプロデュースで活動する9人組ボーイズダンス&ボーカルグループ・UNiFY（ユニファイ）は、2026年10月12日（月・祝）、東京・NEW PIER HALLにて、東名阪ツアー『UNiFY ラブリーチャージ Tour 2026 ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ』のファイナル公演を開催いたしました。YouTubeでのミュージックビデオ再生数が自身初の100万回を突破した話題曲「ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ」をはじめ、ユーモアあふれる楽曲から本格的なダンスパフォーマンス、エモーショナルなボーカルまで、9人それぞれの個性と多彩な魅力を詰め込んだステージで、会場を熱狂と感動で包み込みました。



以下からは、音楽ライターである榎林史章氏によるツアーファイナル公演のライブレポートをお届けいたします。

■『UNiFY ラブリーチャージ Tour 2026 ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ』ファイナル公演ライブレポート

セルフプロデュースで活動する9人組ボーイズダンスボーカルグループ「UNiFY」の、東名阪ツアー『UNiFY ラブリーチャージ Tour 2026 ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ』のファイナル公演が、10月12日に東京・NEW PIER HALLで開催。YouTubeでのMV再生数が自身初の100万回超えを達成した「ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ」をはじめ、ライブで人気の楽曲やユニット曲、さらに新曲「ポジティブシンキング」を含む全20曲をパフォーマンス。当日は全席SOLD OUTとなり、目標とする日本武道館にまた一歩近づいたライブとなった。このツアーは、宝の地図を手に入れた彼らが、地図に記されたダンジョン（ライブ）を攻略しながら進んで行くという趣向。恵比寿、名古屋、難波と3つのダンジョンをクリアして来た彼らがこの日、最後のダンジョンにラストダイブするといったストーリームービーでライブがスタートした。

Press Release

UNiFY広報事務局

ランプを手にダンジョン内を彷徨うようなパフォーマンスで始まった1曲目「fall into...」では、ミステリアスなムードはそのままに、激しいダンスパフォーマンスで会場を圧倒。間髪入れずラップナンバー「beat up」を繰り出し、「リアコ」ではエモーショナルなボーカルパートから一転、ワイルドなラップパートに展開すると、挑発するようなパフォーマンスで会場を魅了した。

「ラブリーチャージする準備はできてますか？ファイナルぶち上がって行きましょう！」と声をかけ、自己紹介ソング「Let's Enjoy Together UNiFY！」へと突入すると、観客はペンライトを振りながら合いの手を一緒に歌い、〈ばっきゅん〉などそれぞれの決め台詞に歓声を上げる。ファンキーなサウンドの「Reboot」での回転キックなど、アクションたっぷりのパフォーマンスでも楽しませてくれた。

個性がハジけるユニット曲も魅力たっぷり。まず雨宮大晟、石橋弘毅、宝、新美直己によるRap teamが「OVER BUFF!」を披露。エレクトリックなビートに乗せ、カラーの異なるラップを繰り広げた4人。「犬系ラブソング」には、雨宮大晟、石沢瑠架、富園力也の3人が登場。お手やシッポをフリフリするようなポーズも取り入れた、ユーモアたっぷりのダンスが何ともかわいく、観客も〈わんわん!〉と声を合わせて笑顔が広がった。最後にボーカルチームの中川将平、福井巴也、RAYが「Run For It」を披露。胸に手を当てながら、爽やかな情景を歌い上げた3人。会場には〈Yeah Yeah La La La Run For It〉と一緒に歌う観客の声とともに、オレンジのペンライトが優しく揺れた。



Press Release

UNiFY広報事務局

前半戦ラストはツアータイトルにもなっている「ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ」。歌謡曲調のキャッチーなメロディと、ユーモアたっぷりのサビとのギャップがたまらない同曲。Snow Manの「カリスマックス」も手がけるコレオグラファーMacoto（RHT.）による、千手観音や昇龍拳などを織り交ぜたダンスは目にも楽しく、観客も一緒に歌って叫んで、オリジナリティあふれる世界観を全身で満喫。



MCではツアーを振り返り、会場ごとに「23人ぴたりクイズ」「ラブリーチャージ風船チャレンジ」「ダンス伝言リレー」といった異なるゲームをやって来たことを話し、ファイナルでは「熱い言葉しりとり」をする流れに。宝の「ライス大盛り」に始まり、2人目3人目とぐだぐだの展開、そして最後の雨宮は「む」から始まる言葉に苦心し、「むむむむ……ムキムキ!」。会場の大爆笑をさらった。

後半戦はダンジョン攻略を一旦中断してライブを楽しむ。タオルを回しながら〈休め！（ハイ！）〉と掛け合いを楽しんだ「ビバホリ」。「mellow mellow」では〈Na na na na na〉と大合唱。コールを合わせた「Super UNiSON」を挟み、切ない失恋ソング「Delete」では「皆さんの声を聞かせてください!」と声をかけると、〈オオオオオオオ〉と観客の声が広がった。



Press Release

UNiFY広報事務局

ムービーが流れ、ダンジョン攻略を再開。しかし映し出されたのは、ダンジョンの罠にかかって次々と倒れるメンバー。そして夢の情景なのか、ここからは赤と黒の衣装に身を包んだメンバーが、ムーディーにパフォーマンス。セクシーなボーカル、ダウナーなラップ、スケールの大きなサビといった、ギャップのある展開が秀逸な「Blue Rose」。R&Bテイストのナンバー「Bad Romance」では、フェイクやファルセットを織り交ぜたソウルフルなボーカルを聴かせ、〈帰したくない!〉など決め台詞で観客を魅了。そしてミディアムバラード「I don't know」では、ステージに横一列で並んでパフォーマンスし、エモーショナルな歌声に切ないムードが広がった。

再びムービーが流れると、ひょっこり現れたのは、誰かに似たランプの妖精ニーミー。彼によれば、推しの名前を叫んで“ラブリーメーター”を満タンにすることでメンバーが復活するという。この緊急クエストに観客全員でチャレンジ。みんなの渾身の叫びで復活したメンバーが、めでたくファイナルのお宝“伝説のラブリーハラペーニョ”を入手すると、会場には大きな拍手が沸き起こった。

ダンジョンクリアのご褒美は新曲「ポジティブシンギング」の披露。「全国にUNiFYのファン“uu（ユーユー）”の輪を広げて、みんなでハッピーになりましょう」とリーダー福井。♪ドレミファソラシド〜と軽快に上がったり下がったりするメロディも楽しく、元気と前向きな気持ちをくれるポップナンバー。メンバーはハート型のバルーンを会場に投げ、客席に降りてファンサービス。会場が大興奮に包まれるなか、本編ラストナンバー「STORY」へと突入。「“uu”のみんな、会いに来てくれて、配信を観てくれてありがとう。愛してるよ!」とコメントし、レゲエ調の温かみのあるサウンドに乗せてメンバーと会場の大合唱が広がった。

〈ボーナスちょうだいUNiFY〉コールで始まったアンコールでは、候補曲「夢花火」か「LCA!」のどちらかを観客が選ぶ趣向で、拍手対決により僅差で「LCA!」に決定。スケールの大きな世界観が広がると、会場にはクラブと〈オーオーオー〉と一緒に歌う声が広がり会場が一つになった。

最後に福井が、「熱量の高いライブ」をテーマにツアーを行ったことをコメント。MVが初めて100万回再生を記録したことにも触れ、「たくさんの“uu”のうちの一人ではなく、一人ひとりの“あなた”のおかげです。皆さんのラブリーを一身に受けて、日本武道館という夢に向かって突き進んで行きます。これからのUNiFYに期待しててください」と思いを熱く語った。そして感謝を込め、ボーナスとして再び「ゾッコン!ハラペーニョ&ジャスミーニャ」をパフォーマンス。「最高のファイナルをありがとうございました!」と締めくくった。

それぞれが多彩な経験を積んできた、個性豊かなメンバーが揃うUNiFY。全員がまだ20代とあって可能性は無限大。情感豊かなボーカルと気合いの入ったラップ、カッコ良さと楽しさのギャップ、辛味と甘味のマリアージュ。彼らの魅力は、何だかとてもクセになる。

文／音楽ライター 樽林史章

【UNiFY 今後の主なライブ】

11月1日（日）

無料スペシャルライブ『UNiFY HALLOWEEN〜お帰りのさいませ、僕たちの館へ〜』@東京・DANCE HALL 新世紀

12月19日（土）

クリスマスライブ『ゆにういん2026 UNiFY Christmas LIVE』@神奈川・新都市ホール

Press Release

UNiFY広報事務局

■『UNiFY ラブリーチャージ Tour 2026 ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ』のファイナル公演セットリスト

10/12（月・祝）@NEW PIER HALL

M0 | Overture

M1 | fall into...

M2 | beat up

M3 | リアコ

M4 | Let's Enjoy Together UNiFY！

M5 | Reboot

M6 | OVER BUFF！

M7 | 犬系ラブソング

M8 | Run For It

M9 | ゾッコン！ハラペーニョ&ジャスミーニャ

M10 | ビバホリ

M11 | mellow mellow

M12 | Super UNiSON

M13 | Delete

M14 | Blue Rose

M15 | Bad Romance

M16 | I don't know

M17 | ポジティブシンキング

M18 | STORY

M19 | LCA！

■UNiFYプロフィール



2023年6月1日より始動となった、総勢9名のボーイズグループ。

グループ名には、常識を破壊し自分達らしく理想を追い求めるという意味が込められている。

「僕らのエンタメは僕らの手で創る」という理念のもとにUNiFYを結成し、企画・営業・楽曲制作・振付などをセルフプロデュースし、世界で活躍するボーイズグループを目指して活動中。

同時にSNSにおける次世代のリードカンパニーになるべく独自にSNS戦略を考え、現在の総フォロワー数は91万人を超える。

▼UNiFY公式HP

<https://unify.tokyo/>

▼UNiFY公式X

<https://x.com/UNiFY0601>

▼UNiFY公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@UNiFY-Offical>

▼UNiFY公式TikTok

https://www.tiktok.com/@unify_official